

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月16日

協議会名: 那須塩原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)	系統名: 西那須野線(黒磯線乗入黒磯駅直通) (西那須野駅~那須塩原駅~黒磯駅)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との接続等のダイヤ見直し ・効果的なPRの実施 ・近隣市町との運行ダイヤの調整 	A 適切に実施した	C <ul style="list-style-type: none"> ・目標 キロ当たり輸送人員【目標】4.2人→【実績】3.9人(令和5年度実績:3.9人) ・目標を達成できなかった理由 令和5年度との通学定期券の発売枚数の伸び率が7.9%と増加傾向にある。しかし、通勤定期券の伸び率が-4.6%と伸び悩んでいることから、一般利用者の移動手段の変更が影響していると推測されます。 	新幹線からの接続を改善し、新たな乗客の確保を図るとともに、近隣市町のバスとも運行ダイヤを調整することで、乗り継ぎ時間の短縮を図る。 また、近隣市町のバスと共通定期券等の対象券種の拡大の検討を進め、通院・買い物利用だけでなく、市域を跨ぐ通勤・通学の生活交通としての機能を強化し、近隣市町と協力して相互に利用者数を増加させて、収支率の改善に努める。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・引き続き鉄道や近隣市町のバスとの接続を考慮し、効果的な利用者利便の向上が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。 				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。				